



ハザードマップには、

- ①災害時の避難所や緊急連絡先、災害情報の入手方法など
- ②特に注意が必要な場所の地図
- ③災害に備えるために必要なことなどが分かりやすく書いてあります。

津山市では、平成19年1月に「津山市防災ハザードマップ」を、平成20年3月には「津山市地震ハザードマップ」を作成しています。



「防災ハザードマップ」は台風や大雨などのときに警戒の必要な「土石流危険渓流」や「急傾斜地崩壊危険箇所」「地すべり危険箇所」「吉井川水系 吉井川等浸水想定区域」を地図に表しています。

「地震ハザードマップ」は津山市への影響が大きいと想定される地震（東南海・南海地震、大原断層の地震、鳥取県西部地震、津山市直下型地震など7種類）を想定し、建物の「倒壊の危険性」を地図に表しています。

どちらのハザードマップにも避難所や災害情報の入手方法、災害に備えての心掛けや準備しておくことなどが書かれています。事前に身の回りの地域を確認しておきましょう。



2つのハザードマップは危機管理課と各支所市民生活課に置いてあります。

また「防災ハザードマップ」は市ホームページからダウンロードもできます。



検索サイトから「津山市防災」と入力して検索してください。

情報収集が防災の鍵!

- 岡山県総合防災情報システム 岡山県内の災害発生状況や避難情報などを見ることができます
<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>
- 防災情報メール配信サービス 警報などの気象情報や災害情報がメールで配信されます
 (受信するには事前の登録が必要。通信費などは利用者の負担)
- つやま災害情報メール <http://www.tsuyama-mail.jp/>
<http://keitai.tsuyama-mail.jp/> ...①
- 岡山県防災情報メール <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/mail.jsp> ...②
- 気象警報・注意報 すべての気象警報・注意報を市町村ごとに発表します
- 国土交通省防災情報提供センター
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html> ...③



家の近所には看板や誘導灯



災害避難場所の誘導灯

災害時避難所の看板

ハザードマップには災害時の避難所が記されています。その多くには「災害時避難所」と書かれた看板や誘導灯などが立っています。これもその一つです。市内には137カ所の避難所が設置されています。

非常用持出袋を用意するなどの備えをしておくのはもちろんですが、大災害が発生したときに交通網の寸断や同時多発火災が起こると、消防や警察などが十分に対応できない可能性があります。

そのようなときに力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」。これを担うのが地域の人々が自発的に防災・防犯活動を行う「自主防災・防犯組織」です。

現在、市では80の自主防災・防犯組織が活動を行っています。しかし、組織率（組織内世帯数/市内世帯数）は36・5%（平成22年4月1日現在）と県下でも低い水準にあります。市では組織設立についてのサポートを行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

平成10年の台風10号の時、皿川の氾濫などで甚大な被害を受けた佐良山地域は、平成16年12月に市内で初めて組織した「佐良山学区防犯会」を母体に、平成19年3月「佐良山学区自主防犯防災会」を設立しました。当初、佐良山学区の9町内会の活動でしたが、今は連合町内会佐良山支部13町内会が参加し、事務局を佐良山公民館に置いています。



▲台風10号で橋梁が崩壊した宝来橋

活動としては年1回、町内会単位で順番に行っている防災訓練があります。消火器やバケツを使つての消火訓練、土嚢や簡易担架の作り方、AEDの操作方法の講習などを行い、他の町内会からも参加、訓練ができるようにしています。



佐良山学区自主防犯防災会の皆さん
 左上から井川敏夫さん（高尾）、植木良祐さん（一方）、左下から川端紀子さん（事務局）、上原勇三さん（皿）、松尾将夫さん（中島）

問い合わせ先 危機管理課 (市役所3階) 消防防災係 電話 22-1190